

# 市政ニュース

夢は全日本チャンピオン

## 「国体出場選手等による少年少女スポーツ教室」

卓球競技」開催

3月7日、豊岡南中学校体育館で、のじぎく兵庫国体出場の地元出身選手の渡邊直希さんと西岡百子さんを講師に招き、小学生を対象に「国体出場選手等による少年少女スポーツ教室」卓球競技」を開催しました。

この教室は、のじぎく兵庫国体で高まったスポーツへの機運を生かし、子どもたちがスポーツに親しめるよう開催したものです。

当日は、市内外から約70人の参加があり、この日初めてラケットを握る子どもたちもいました。

渡邊さんと西岡さんの模範演技から始まり、参加者は国体選手ならではの正確さとスピードに見入っていました。

続いて、経験者と初心者の方に分かれ、経験者は渡邊さんとラリーをしながら指導を



▲渡邊さんと西岡さんの模範演技

受け、初心者には西岡さんにラケットの持ち方から腕の振り方まで丁寧な授けられ、教室の後半にはラリーができるほど上達しました。

また、2人の選手の対戦も行われ、模範演技とは違った真剣さに、会場にも緊張が走りました。

選手と小学生との対戦もあり、勝負に挑んだ小学生がポイントを取るたびに大きな歓声が沸きました。

卓球競技の楽しさと全国レベルの技を体感できた貴重な一日となりました。

## 豊岡の春を告げる風物詩

### 今年も「コウノトリ」が野外で産卵

2月21日、ハチゴロウの戸島湿地(城崎町戸島)内の人工巣塔で、今年初めてのコウノトリの卵1個を確認しました。

オスJ0391とメスJ0294のこのペアは3年連続の産卵。本市の野外では5年連続で産卵が確認されたこととなります。

2月23日には、百合地の人工巣塔で6個の卵が確認され、3月5日には、戸島の巣塔で



▲初卵が確認された戸島湿地内の人工巣塔

さらに3個の卵が確認されました。その後も各地で吉報が約1カ月後のふ化を楽しみに、そっと温かく見守ってください。

### 「JALに乗って」玄さんグッズをもらっちゃおう!!

キャンペーン」始動

3月1日、市のマスコット「玄さん」が、コウノトリ但馬空港で、「JALに乗って」玄さん「グッズをもらっちゃおう!!」キャンペーン「対象となる1番機を出迎えました。

「玄さん」は、機体を前に、揺るぎない強い意志(石)で、JALの再生と、本市のより一層の飛躍のために尽力しようと呼びました。

キャンペーン期間中(3月1日から5月31日までの搭乗



▲等身大の出迎えパネル

分)、コウノトリ但馬空港では、多忙な「玄さん」に代わり、玄さんパネルがお出迎えします。

## 「主な市政の動き」

### 【2月】

15日 豊岡駅前広場整備関連事業「JR豊岡駅舎移転工事」にJRが着手

17日 日本航空へのエールとして「玄さん」ぬいぐるみを同社に贈呈

21日 今年初の野外でのコウノトリの産卵確認

22日 豊岡市都市計画審議会

26日 市議会開会(3月26日)

27日 豊岡最終処分場使用延長調印式

第7回東井義雄賞・いのちのことは入賞作品発表会・記念講演会

### 【3月】

1日 生物多様性条約(CBD)事務局長来訪

子どもと心でつながる市民運動推進協議会設立

JALに乗って「玄さん」グッズをもらっちゃおう!!キャンペーン開始(5月31日)

6日 出合い交流事業実施(7日)

八条小学校児童がサケの稚魚を円山川に放流

# 「子どもと心でつながる市民運動推進協議会」設立

3月1日、「子どもと心でつながる市民運動推進協議会」の設立総会が、青少年健全育成に関係する41団体の代表者が集まり、市民会館で開催されました。

この協議会は、2月14日に市内で発生した中学生の傷害事件を受けて設立されました。青少年の健全育成を図るため、全市挙げて、地域・家庭・学校・行政が密接な連携・協

力・情報交換などを行い、まちづくり・市民運動として推進していきます。  
当日は、推進協議会規約や役員を決め、啓発活動などの取組みや中学校区ごとに地区会議を組織化することなどを確認しました。  
《スローガン》  
地域の子どもは地域で育てよう  
「顔でつながり、声でつなが



▲設立総会で力強い活動を誓う

## 乗って守ろう公共交通

# 市営バス「イナカー」の運行計画の見直しと新車両の導入

市営バス「イナカー」は、「路線維持に関する基準」に基づき、1年間の利用実績を評価し、次年度の運行計画を見直すこととしていました。

この結果、11路線19系統のうち最低需要基準である1便当たり1人を超える利用がなく、かつ、通園通学に利用されていない2路線4系統(宇日日和山線、合橋線、但東清滝線、坂野東里線)は、4月1日から路線を廃止します。他の路線も、収支率20パーセントを満たしていないた

め、運行回数の削減などを行います。このため、市内11会場で説明会を開催しました。また、竹野南線では、3月15日から新車両の運行を開始しました。

この路線は、多雪地域で道路が急勾配の地点があるため、四輪駆動車のマイクロボスとしています。

車両の出入口には、自動補助ステップを装備し、手すりや両側に設置して、高齢者や子どもが利用しやすいようになっています。車体には、竹



▲ピカピカのラッピング車

野川を遡上する「アユ」や「ヤマセミ」をデザインしたラッピングをしています。

## 中貝市長の徒然日記 29

### ジョグラフィ氏来豊

先月、生物多様性条約事務局長のアフメッド・ジョグラフィさんが豊岡に来られました。地球環境問題と言えば温暖化、気候変動枠組条約が圧倒的に有名ですが、生物多様性条約は、92年の地球サミットでそれと一緒に生まれました。

ささまざまな生きものがつながりあって生きている様子を「生物多様性」と言います。簡単に言うと、「いろんな生きものがようけおる」環境を守っていくという条約です。

その条約の第10回締約国会議(COP10)が今年10月、名古屋で開かれます。古屋市で開かれます。

チャンスです。豊岡のノウハウを巡る活動こそ、日本が世界に誇れる事例です。

昨年10月、その国際会議のキーパーソン、ジョグラフィさんが神戸の会合にやって来まして、そこで、押し掛けていて、コウノトリの取組みを説明しました。彼は感嘆し、条約の公式ホームページに豊岡の取組みを掲載すると約束

してくれました。今、世界の代表事例8市のうちの1つとして紹介されています。さらに、豊岡訪問をお願いしました。「身体の疲れを城崎温泉で癒しませんか？」

やって来た彼はあらためて深い感銘を受け、「COP10の自治体国際会議で報告すべきだ」と言ってくれました。後日、彼から手紙が届きました。「9月の国連総会で各国首脳に配る機関誌に投稿してほしい」と書かれていました。

4月、マレーシアで開かれる世界ジオパーク会議で山陰海岸ジオパークの報告をします。5月、名古屋で開かれる「都市における生物多様性とデザイン」という国際会議でもスピーチします。いよいよ「小さな世界都市」の実現に向けて発進です。

ん？誰が話すって？大変。急ぎよNHK英会話のテキストを買いました。特訓です。

